

さらなる信頼関係の構築に向けて

OKIグループは、2007年度、従来のCSR専任組織を再編し、「CSR推進本部」および「CSR委員会」を設置しました。また8月に制定した「OKIグループ行動規範」を国内外のグループ120社で採択し、グループとしてグローバルにCSR活動を推進していくための基盤を整備しました。さらに、2004年度から取り組んできたCSR活動における重点領域を見直し、「コンプライアンスの徹底」をCSR活動全般を支える基本項目と位置づけるとともに、「情報セキュリティ」を新たに重点項目と位置づけて取り組みを強化するな

ど、次なる一步を踏み出しました。

2008年度は、グループ内部統制の観点からも、「OKIグループ企業行動憲章」「OKIグループ行動規範」をベースとしたグローバルなCSR推進体制をさらに整備・強化していきます。また、引き続き7つの重点領域について下表に示すポイントを中心に取り組むとともに、ステークホルダーの皆様から寄せられる期待とOKIグループが果たすべき役割の両面からCSR活動を捉えなおし、本業における貢献をさらに推進していきます。

CSR各活動領域における2008年度の注力ポイント

CSR活動領域	2007年度の主な取り組み	2008年度注力ポイント
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ●eラーニングによるコンプライアンス教育受講範囲を拡大 ●リスク再評価の結果、展開先の拡大などを実施 ●監査結果をふまえてモニタリングを強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●リスクマネジメントの仕組みの着実な維持と改善 ●グループとしてのコンプライアンス教育の充実
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ委員会を設置し、全社共通施策を策定 ●部門・会社ごとのセキュリティ対策推進体制を整備 ●グループ一斉検およびセキュリティ監査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●調達部門や取引先を含めた、施策のさらなる周知・徹底 ●施策実施・定着状況のモニタリング
お客様満足の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●製品事故発生時のグループ連携体制を構築 ●消費生活用製品向けガイドラインを参考に市場・お客様との接点機能を拡充 ●「ワークウェルコミュニケーター」などを開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ内の情報共有を促進し、製品事故の未然防止に活用 ●世の中の要求変化をふまえた品質教育の見直し ●ユニバーサルデザイン技術の応用拡大
株主・投資家への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所見学会の開催回数増加 ●通信・プリンタ等の事業セミナーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●機関投資家へのさらに積極的な情報発信
社員の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル教育の実施 ●テレワークの試行を開始 ●次世代育成支援のためのパンフレット配布 ●生産拠点の安全実査を強化 ●ストレスチェックツールをグループ企業に展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材の確保と育成 ●次世代育成支援の浸透とチェック ●ワークライフバランスの推進 ●心身の健康づくり支援
環境への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●製品含有化学物質マネジメント体制を構築し運用 ●業界統一指針に基づく省エネルギー目標をほぼ達成 ●環境に配慮した技術・商品開発を推進 ●ISO14001 統合認証範囲に中国の2拠点を含む10拠点を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化防止策の推進 ●製品の環境対策強化 ●ビジネスに貢献する環境マネジメントの推進 ●環境マネジメントの改善と効率化 ●内部環境監査の改善と強化
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの社員が参加できる活動を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ●難民キャンプ等への古着支援活動の再開 ●地域貢献活動の強化 ●自治体・NPOとの協働活動

編集後記

4度目の発行となるOKIグループ「社会的責任レポート」をお届けいたします。本年は初の試みとして、ステークホルダーの皆様や社会の関心が高く、かつOKIグループにとって重要な課題を4つ抽出し、特集「OKIグループのCSRのかたち」としてその取り組みをご紹介します。これはOKIグループの本業におけるCSRのあり方を社内で再確認するプロセスとしても有効であり、今後とも継続していきたいと考えます。

また、OKIグループが重点的に推進する7つの活動領域については、昨年に続き、活動の進展状況をよりわかりやすくお伝えるため、報告年度における注力ポイントとその達成状況を記載する形をとっています。この形式が定着したことにより、

レポートを作成する過程において社内の関連部門が各活動の進展状況と課題を相互に共有し、次年度の活動に活かすことが可能になってまいりました。

個々の記載内容にはまだまだ不十分な点も多いと認識しておりますが、これは各活動の課題が表れた結果でもあります。本レポートに対しステークホルダーの皆様から頂戴するご意見をふまえ、さらなる活動の充実、よりわかりやすい情報開示に努めていく所存です。何卒、皆様の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2008年9月

沖電気工業株式会社CSR推進本部 CSR推進部